

寅さん歩 その20

官公庁の食堂めぐり-25 練馬区役所



平野 武宏

昨年は東京の大学の学食を食べ歩きました。「寅さん歩」の愛読者から「次はお役所や企業の食堂をお願いします」との声がありました。日本の中枢、中央合同庁舎のある霞が関・大手町や東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がっている東京都庁の食堂を訪問しました。これからは東京 23 区の区役所の食堂を訪問します。

東京 23 区に番号が付いているのを初めて知りました。そのもとは旧自治省（現総務省）がつくったコード番号表です。旧江戸城＝皇居や霞が関官庁街のある千代田区が 1 番です。千代田区を中心に、ここから「の」字にぐるぐる回る順番のようです。

今回は 20 番の練馬区です。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないように配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。室内の写真撮影は人物の顔が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のもので、最寄り駅は代表例です。

[練馬区役所]

練馬区豊玉北 6-12-1 最寄駅 西武池袋線 練馬駅 南口

練馬区は 23 区の中で 1 区だけ遅れて板橋区から分離、1947 年（昭和 22 年）8 月誕生しました。（他の区は 3 月）その理由は板橋区が広すぎたためとのこと。分離した区域は旧北豊島郡練馬町、上練馬村、中新井村、石神井村、大泉町。「練馬」の名の由来は定かではありませんが、「続日本紀」にある武蔵国の駅・乗瀨を「のりぬま」と読み、なまって「ねりま」になった説、赤土などを「練る場」からという説があるとのこと。

本庁舎（写真右）は 1996 年 3 月竣工（地上 20 階、地下 2 階）で左右に東庁舎（7 階）と西庁舎（10 階）があります。練馬区は緑の多い閑静な住宅街で、従来の西武池袋線の他に副都心線、大江戸線の開通でマンション建設ラッシュとなっています。



観光センターのパフレットでは練馬区は緑被率（みどりの面積が区域の面積に占める割合）が23区NO. 1、アニメ発祥（日本初の長編用アニメ生誕の地）の街、23区最大の農業地域だと自慢しています。

〔練馬区職員レストラン Ra dish〕

西庁舎の地下1階に食堂があります。2019年（平成31年）4月4日リニューアルオープンとのこと。ランチタイムは11時～14時。写真下左は日替わり丼（鮭そぼろ）490円、写真下右はカツカレー530円です。



他のメニューは日替わり満足弁当420円、日替わりA550円、B550円、C550円、カレー380円、ハンバーグカレー530円、メガカレー660円、メガカツカレー810円、うどん・そば360円、かき揚げうどん・そば380円、冷やし五目うどん・そば480円、醤油ラーメン380円、冷やし中華530円があります。

〔練馬区役所 展望レストラン〕

本庁舎20階は観光スポットになっている練馬区役所展望ロビーで、展望レストランがあります。寅次郎、展望とランチを楽しみました。営業時間は11時30分～21時。（土日祝も営業、定休日は第4日曜日と年末年始）写真下左は寅次郎が食べた五目焼きそばセット1,250円（単品1100円）です。その他メニューは約1000円～1600円です。お天気が良ければ富士山も見られます。（写真下右）



ねりま観光センター発行の「練馬区観光ガイドマップ」によると西武池袋線江古田駅、練馬駅、練馬高野台駅、大泉学園駅を中心に観光スポットが集中しています。

「寅さん歩」の練馬区紹介は次の通りです。番号は「寅さん歩」の目次番号です。

東京の富士塚めぐり：26、健康ご利益めぐり：55、江戸・東京の祭り：80
東京の紅葉・黄葉：83、花の祭り：89、江戸・東京（23区）の百名山：144
江戸の閻魔大王：186、東京の学食めぐり：214

練馬区の木は「コブシ」、花は「ツツジ」です。



〔バーチャルウォーク 途中経過〕

2018年（平成30年）10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県、福岡県、山口県、岡山県、兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県、三重県を経て愛知県に入りました。2019年（令和元年）9月2日現在、スタートから1260Km地点を通過しました。

ウォーキングでは人や自然との多くの「出会い・ふれあい」があります。寅次郎も「映画の寅さん」に負けないくらいの人との出会いがあります。ご迷惑をかけない範囲でご紹介します。

〔寅次郎がウォーキングで出会った人—24〕

～ FWA年間完全完歩を続けた驚異的おしどりウォーカー ～

年間完全完歩達成はFWAの1年間の定められた例会をすべて参加することですから1年間、自分自身と周囲の都合がすべてよくて初めて達成出来るという難しい挑戦です。今回はスタッフをやりながら、年間完全完歩を続けたという驚異的おしどりウォーカー 横浜市在住の 石田敏雄さん 2005年（平成17年）8月入会、石田幸子さんは2006年（平成18年）1月に入会のご夫妻です。

お二人とも若い頃はそれぞれ登山を楽しんでいましたが、50歳後半、低山にもかかわらず体力の低下を思い知り、がっかりしたそうです。これではいけないと思い、手軽なスポーツとしてウォーキングを始めたとのこと。始めたのは奥様が早く2005年（平成17年）1月他協会に入会して歩いていましたが、1年間の経験からFWAスタッフの対応が好印象でしたので、定年を迎えたご主人敏雄さんにはFWA入会を勧めたそうです。

奥様も他協会の契約更新の際にF W Aに入会されています。

F W Aスタッフをお願いしたところ奥様から「主人は人見知りで、人前での話も苦手なので無理！」と断られました。それでもと食い下がると「それでは私がやってみて、主人に出来るか試してみます」とのこと。本当にしっかりとして、ご主人想いの奥様に感服した寅次郎でした。

めでたく翌年から「おしどりスタッフ」となりました。

今回の取材で二人共「しがらみのない中でウォーキングを楽しみたいのが半分、新しいことに挑戦したいのが半分で心が揺れましたが、後者を選びました」と当時を振り返っています。

お二人がスタッフになったことで、当時同じ相鉄線で例会に参加していた川柳王 金子勝彦さん（官公庁の食堂めぐり-11 参照ください）から「人見知りの自分が相鉄線内で石田夫妻にやっと声をかけお友達になったのにスタッフになり例会参加の時間が異なり、電車で会えなくなった」とお叱りを受けた寅次郎でした。

スタッフではコースリーダーを務め、下見や当日の運営に真面目に取り組まれています。ご主人は「コースづくりの思い出では途中で道がなくなったり、知らずに人の土地に入り、持ち主に怒られ引き返したりしましたが、スタッフならではの面白い体験をしました」、奥様は「初めて例会に参加した時に女性のベテランウォーカーから声を掛けられ、その人との会話がウォーキング継続の励みになり一番の目標になった」と体験を話されています。この体験がスタッフ活動に活かされていることでしょう。

好評のF W A参加シールはスタッフを引退した浅田悦男さん(1997年10月入会)の後を受け、ご主人の敏雄さんが作製されています。

そんな中でご主人 **敏雄さんは12年間で11回の年間完全完歩（内8回は連続）、奥様 幸子さんは11年間で8回の年間完全完歩(内4回は連続)**という気の遠くなるような、驚異的な記録を達成しています。(2018年現在)

お二人は「特別に気負った気持ちは持っていませんが、健康管理の目標の一つになりました。家族、親族、私たち二人とも何事もなく完歩できた年は少しうれしい通信簿をもらったように思いました」と感想を述べられています。

ウォーキングだけでなくお二人の生活は充実されているのにも驚きました。ご主人は**花木、果実の植木鉢での育成。**(写真右)

苗木から花木、果実を植木鉢で育て、果実の育て方を学び成長の喜び、新鮮な感動を味わう毎日だそうです。



写真右はスモモ（サンタローザ）で3年目頃から花は咲きだしましたが、実がならず、5年目に受粉樹として異種（大石早生）を追加育成。今年初めて結実しました。6年目で小ぶりですが7個です。完熟直前にカラスにとられがっかりしました。この他に植木鉢で育成中の果実は桃、びわ、サクランボ、夏みかん、レモン、ブドウ、キンカン、リンゴなどがあるとのこと。恐れ入りました。



奥様は数多くの手芸を楽しみ、ミシン、布、糸は特に趣味と実益を兼ねた大切に大好きな手仕事とのこと。他に読書、数独にも、はまっていて暇を持って余すことはないそうです。

FWAでは会報の新年号に会員の作品をカラーで掲載していますが、奥様はその常連で新聞ちぎり絵やクロス・ステッチ等、毎年素晴らしい作品が紹介されています。

写真右は1995年（平成7年）

ユザワヤ 全国作品展

パッチワーク部門 銅賞に輝いた作品「村の午後」

（寸法175×105cm）です。



「加齢とともに少しずつ失うものがあるのは致し方ないでしょうが、明日へと目を向け一日一日を有意義に過ごしたいと思います」と語っておられます。

このお二人の言葉は「これだけ鍛えた私の足が、なんで痛むのか？」と嘆いていた寅次郎には名言です。

今回は バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へ-14 です。

平野 寅次郎 拝